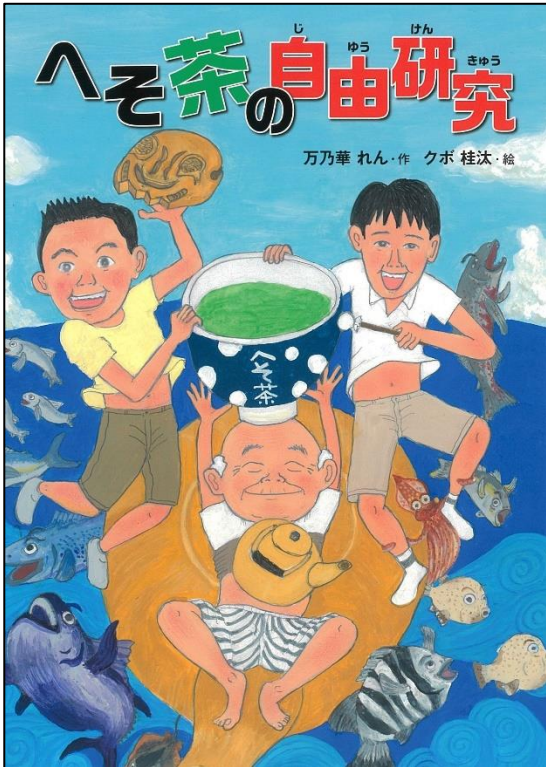


佼成出版社の児童書 新刊のご案内

6/24(金) 配本予定



こころのつばさ シリーズ (小学校中学年向き)

へそ茶の自由研究

万乃華 れん・作 / クボ 桂汰・絵

22 cm × 16 cm / 96 頁 / 本体 1,300 円

ISBN 9784333028740 / C8393 / NDC913

**小学生男子が、本当に
へそで茶をわかしてみた！**
笑いあり、涙あり、ひと夏の友情物語

「できもしない、あり得ないほどばかばかしくて笑ってしまうこと」を意味する「へそで茶をわかす」という慣用句。もしそれが本当なら、水を入れたやかんをおへその上に乗せて、みんながギャグを言って笑わせたらお湯がわくのでは？ というユニークな着想から物語が始まります。家族や友だちとノリノリで実験した、へそ茶の自由研究。果たして結果は？！



- 夏休みにぴったりの自由研究を題材にしたストーリーです。
- 転勤族の転校生との友情に、胸が熱くなります。
- 「へそ茶」をきっかけにエネルギー問題について考えます。

締切 6/15(水) 佼成出版社

FAX 0120-538-521

番線印	部 数	佼成出版社 ◆新刊指定配本
ご担当者 様	冊	こころのつばさシリーズ へそ茶の自由研究 万乃華れん・作 クボ桂汰・絵 本体 1,300 円 ISBN 9784333028740

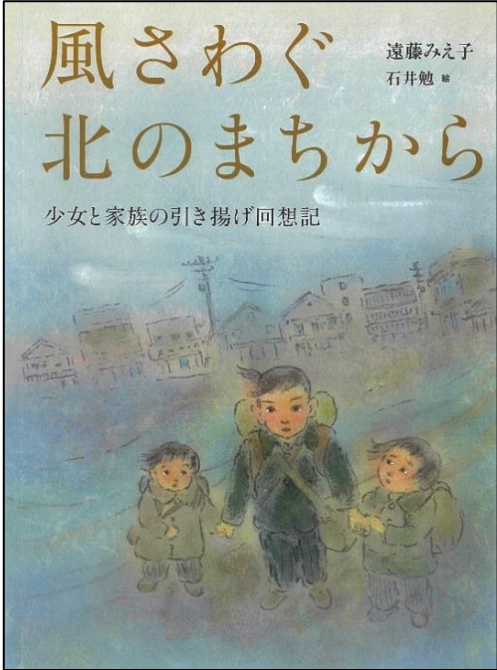
中学生～
YA 向け

児童書よみもの新刊案内



風さわぐ北のまちから 少女と家族の引き揚げ回想記

**6/21
配本予定**



遠藤みえ子・作 / 石井勉・絵

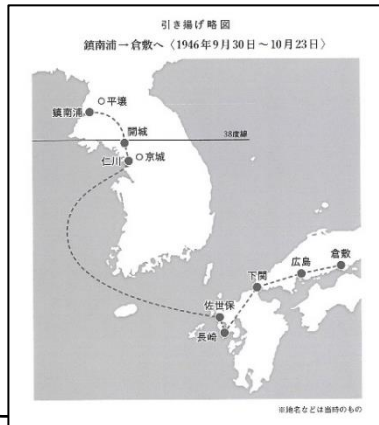
本体 1,600 円 / A5 判 / 224 頁

ISBN 9784333028733 / C 8393 / NDC913

**今こそ戦争の悲惨さを伝えたい！
大切な命を粗末にしないで！**

1945 年敗戦後、住んでいた北朝鮮から日本へ
引き揚げた経験を基に描いた、著者渾身の物語。

- 脚注あり
- 章トビラに挿絵あり
- 中学生以上の漢字にルビあり



第一章	藍湖は今（一九四五年十月初め）	7
第二章	キムおじさん（一九四五年十一月末）	43
第三章	オコリーさんの影（一九四五年十二月末）	61
第四章	ピルビのオンマ（一九四六年三月末）	117
第五章	脱出まで（一九四六年五月～十月）	189
おわりに		219

ここは日本じゃなかったの——？

1945 年 8 月 15 日。日本の敗戦により、それまで日本の植民地だった朝鮮に暮らす日本人は、突然「外地」に取り残された状態になりました。11 歳のれい子と家族は、朝鮮半島の北側の港町・鎮南浦で、厳しい冬を迎えます。寒さと食料不足、ソ連兵による略奪、北朝鮮の建国などの混乱の中、助けてくれた朝鮮の人たちや、隣り合って住んだソ連軍大尉との交流など、少女の目を通して当時の暮らしが生き生きと描かれます。母と 6 人の子どもたちが生き抜き、日本へ帰り着くまでを描いた、奇跡の実話です。

6/10 締切 佼成出版社 ◆ FAX 0120-538-521

番線印	部数	◆ 佼成出版社 ◆ 新刊配本 ◆
ご担当者様	冊	風さわぐ北のまちから 遠藤みえ子・作 / 石井勉・絵 本体 1,600 円 / ISBN 9784333028733-